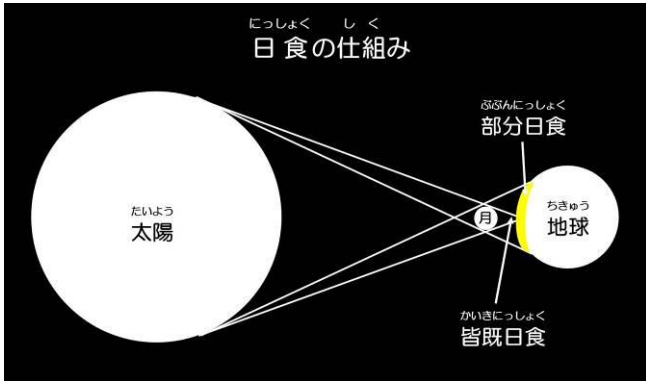


日食

～ 太陽が欠けていく ～

6月21日(日)の午後から夕方にかけて、約半年ぶりに日食を見ることができます。日本では、太陽の一部が欠ける部分日食ですが、アフリカからインド、台湾にかけては金環日食となります。

日食とは



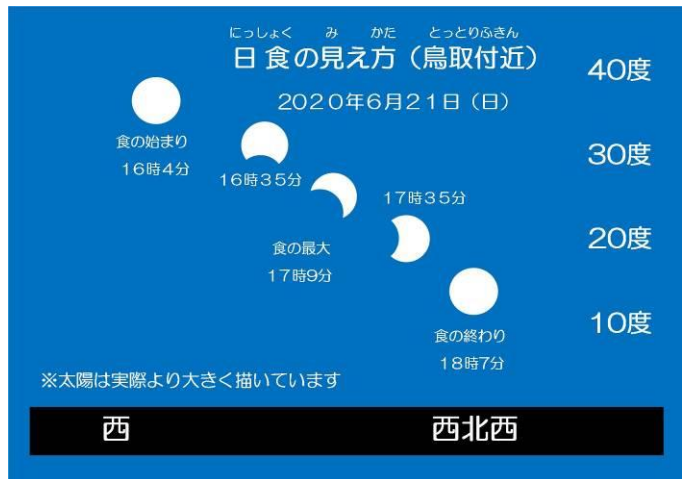
地球と月の公転によって、毎日、太陽、月、地球の位置は変化しています。日食は、太陽と地球の間に月がやってきて、地球から見ると太陽と月が重なって見える現象です。日食には太陽と月の重なり方によって、①太陽全体が見えなくなる「皆既日食」、②太陽が輪っかのように見える「金環日食」、③太陽の一部が欠けて見える「部分日食」があります。

今回、日本で見られるのは「部分日食」です。

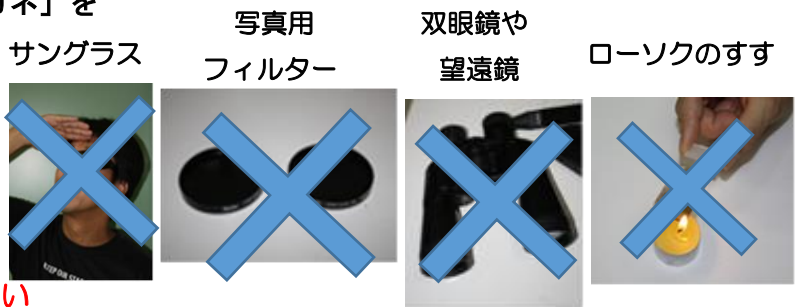
鳥取での見え方と観察の時の注意点

日食は16時4分から始まります。今回の部分日食の食分は54%、半分欠けた太陽を見ることが出来ます。終了は18時7分で、高度は13度です。西の方角に高い建物や山がなければ最後まで見ることが可能です。

太陽観察は危険が伴います。安全に楽しんで観察をしていただくためにも次のことは必ず守ってください。必ず太陽観察専用の「太陽メガネ」を正しく使って観察しましょう。



- 1.サングラスで見ない
- 2.写真用のフィルターを使って見ない
- 3.双眼鏡や望遠鏡をのぞいて見ない
- 4.ガラスにローソクの「すす」をつけて見ない



観察方法 ～ その他の観察方法 ～

太陽メガネを使う方法以外にも安全な観察方法があります。



ピンホール
厚紙に小さな穴をあけ、太陽の光を地面に置いた白い紙などに映すと、欠けた太陽の姿を見ることが出来る



木漏(こも)れ日
木の下にできる木漏れ日を見ると、全て太陽の姿になっている



太陽投影装置
望遠鏡に取付けた投影装置に写る太陽を見る